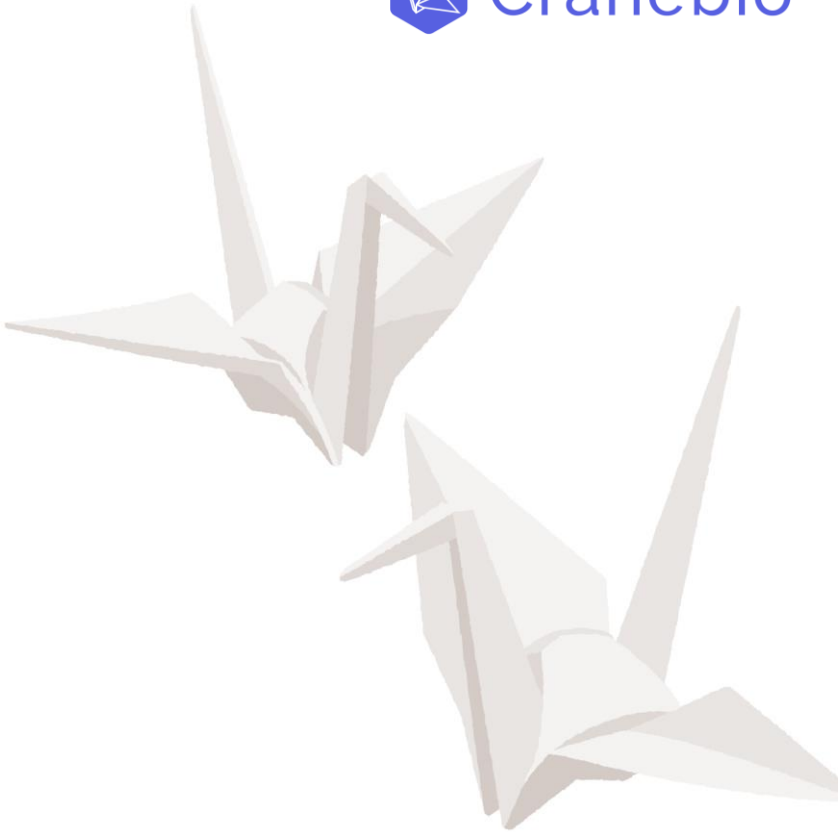
Cranebio株式会社
会社説明資料

2022年11月



簡単に測れるからこそ、実現可能なヘルスケアがある

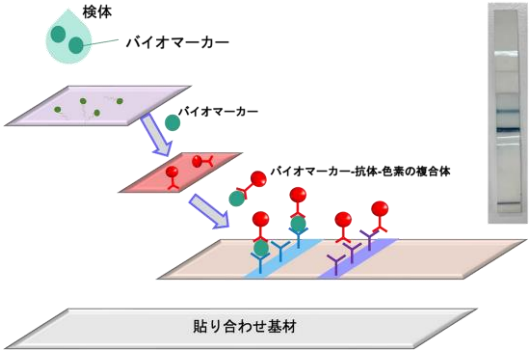
一般ユーザーでも測れる簡単な検査手法を確立し、
検査を「また測りたいな」と思えるものへ

Technology platform

タンパク質検出

保有技術

高感度イムノクロマト法
⇨装置が必須であった蛍光検出と同感度を達成

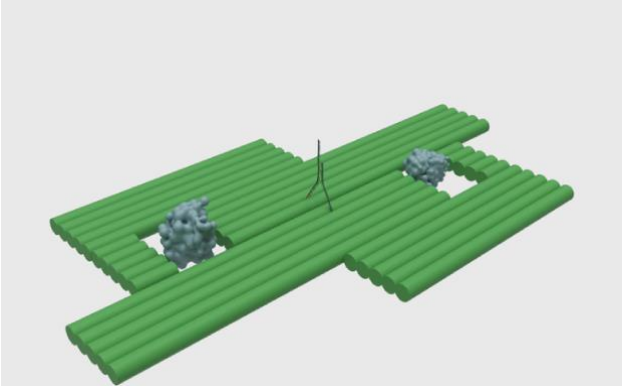


感度：サブpM（目視系の場合）

核酸検出

保有技術

配列特異的に活性化する人工酵素
⇨PCR法では必須の装置を不要に



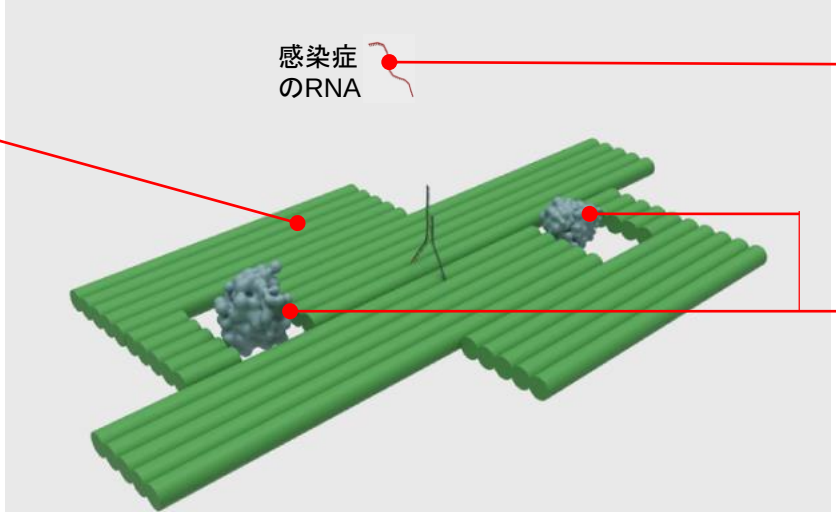
感度：10^2 copies / μL

Technology

感染症等の遺伝子の存在により、酵素活性のON/OFFが切り替わる人工酵素（Dozyme）を独自に開発（特許出願済み）

DNAオリガミ技術

DNAを素材として用い独自のナノ構造体（Dozyme)を開発。動かすことが可能



RPA法（核酸増幅法）

英TwistDx社が提供する室温での増幅が可能な次世代遺伝子増幅機構

スプリット酵素技術

元々1つの酵素を2つに分けて配置し一旦活性をオフにし、2つの酵素が再び近傍に来た時に活性が復活する

※DNAオリガミによるCOVID19等感染症のセルフ遺伝子検査のメカニズム詳細はホームページ（www.crane-bio.com）に動画がございます。参照ください。

開発中製品例

迅速感染症検査キット

- いつでも、どこでも検査可能な高感度遺伝子検査キット
- すべての感染症検査に適用可能（COVID19、HPV、インフルエンザ等）
- PCR検査、抗原検査に代わる次世代感染症検査プラットフォーム

How to use the test kit？

高価な検査機器、臨床技師が要らない

空港、イベント施設、家庭、薬局等どこでも1時間以内に検査ができる

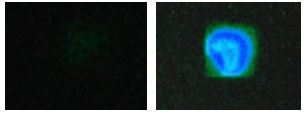
PCRと同精度の検査が数千円で可能

01 検体採取（唾液）

02 RNA抽出/試薬添加/常温増幅

03 RNA検出

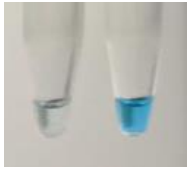
スマホを使う（発光系）



陰性　陽性

iPhone カメラ30秒 露出

肉眼で確認（着色系）



陰性　陽性

泌尿器科領域における期待

当社の技術に興味はございませんか？

- 感度不足により迅速検査化が困難なバイオマーカー
- より高感度化が要求されているバイオマーカー
- DNA/vRNA/miRNAなどの測定装置がないと測定が困難なバイオマーカー

など、身近なニーズを教えていただきたいです

OUR COMPANY

Cranebio株式会社 （クレインバイオ株式会社）
https://www.crane-bio.com

【設立】
2021年4月5日

【資本金】
45,477,500円

【事業所】
東京都港区新橋4－31－3 第三名和ビル501号
<研究開発拠点・工場>
・秋田県秋田市飯島穀丁大谷地257
・大阪府吹田市千里山東3丁目10番1号関西大学
イノベーション創生センター

【社員数】
役員：2名　従業員：9名（2022.10末現在）

【事業内容】
・フェムテック製品（フェミニンテスター）の開発
・DNAオリガミを用いた感染症検査キットの開発